



発行
東京鷹桜同窓会
発行人 高橋正二
編集人 木村 繁
東京都板橋区小茂根
1-1-6-101
電話 (03) 958-8448

同窓会ハ故郷ノ散歩道

東京鷹桜同窓会副会長 吉田志津

何年か前、長井ニ帰ッタ時、裏ノ

畑ヲ通ツテ、ツツジ公園ニ行コウト
歩イテ行ツタラ、公道ニ出ル、ホン
ノ少シノ部分ガ個人ノ屋敷ニナリ垣
根ガ出来テ、ドンヅマリ。コノ道ハ
曾祖母ガ「昔ハ車ヲ引イテ通レル道
ダッタガ、コゲニ狭クナッタナア」
ト言ツタ道。洵ニ複雑ナ思イデ引キ
返シタ。

西山カラ流レテ来ル飲メルヨウナ
キレイナ水ガ小サナ波ヲ立テテ流レ
ル川ノ淵ノ小道ヲ歩クノガ好キダッ
タノデ、行ツテ見レバ、勿論川ハ流
レテイル。併シ昔ノ小道ハ矢張り垣
根ガアツタリ、ゴミノ山ガ通センボ
シテイル。ダカラ、或ル時カラ私ハ
小道・裏道ノ散歩ヲヤメ、目ヲツム
ツテ、アノ道、コノ川、アソコ、コ
トト思イ巡ラス散歩方式ニ切り換エ

此ノ処、先輩後輩ノ絶大ナ御尽力

ニヨリ同窓会ガ東京ノド真中デ毎年
開カレルヨウニナッタ。私モ隠居ニ
ナリ、自分ノ為ニ時間ヲ使エルヨウ
ニナッタノデ、欠カサズ出席サセテ
頂イテイル。
「アッノ 貴兄ハ〇〇サンノ甥御サ
ン？」
「アッノ 貴女ハ××サンノ妹サン
？」

「叔母様ハドウシテオラレルノ？」
「姉上ハ元氣カシラ？」コノ位ノ所
マダイイ。
「吉田サンデスネ。」
「ハイ吉田デス。ドナタ様デシヨウ
？」
「貴方ノ同級生ノ△△ノ娘デス。」
「エエッノ △△サンノ娘サン？」

ヨクヨク眺メレバ中年一オボシキ
御婦人。サスレバ、コノ御婦人ハ私
ノ娘トナルワケカノ ト氣ガツケバ
玉手箱ヲ開ケタ瞬間ノ浦島太郎ノ心
境。
ダガ、コノヨウナ方々ニオ目ニカ

東京鷹桜同窓会一年の歩み

▽五八年十月十一日(日) 池袋・
東武「バンケットホール」で定例総
会開催。出席者約百三十名。会員紹
介(昭和十一〜十五年卒)、長沼孝

三顧問による、村山秀雄同窓会本部
会長及び芳武茂介氏(昭3卒)の著作
紹介など。特に母校出身(昭19卒)
で長年、母校で教鞭をとられた水野
多門校長の人氣は抜群で、前日、当
日とも、総会のほかに、19卒、33卒
(南)、36卒等の同級会にと引ッ張
りだこ。又、郷里の物産販売は買
遅れ続出の大盛況。

▽五八年十二月十七日(土) 池袋
・「紅花」で学年幹事を中心とした
反省会開催。高橋正二会長、川野カ
ツ副会長など約三十名出席。忘年会
を兼ねて和氣あいあい。幹事に限ら
ず、出席を待ちます。

▽五九年八月十九日(日) 新宿・
「中村屋」で事務局会議開催。猛暑
を おして、高橋会長以下出席。五十

カレバ、目ヲツムラズトモ、アノ人、
コノ人ト過シタ空ノ青サ、雲ノ色、
一木一草ノユラグ様子其ノ他一切ガ
眼前ニ繰リ広ガリ、一瞬ノ中ニ故郷
散歩ガ出来テシマウ。同窓会トハ、
同級会ト又一味違ウ故郷ノ散歩道。

九年度総会、学年幹事会の開催に向
けての日程などを検討。

▽五九年九月一日(土) 池袋「と
り元禄」で事務局会議開催。学年幹
事会開催準備。会報編集委員会。

▽五九年九月十三日(木) 渋谷・
「東急ゴールデンホール」で学年幹
事会開催。ウィークデーの夜にもか
かわらず、約三十名の出席。総会に
向けての準備会。

▽九月十六日(日) 同窓会東京支
部の草創期の頃を、渋谷利蔵・桑島
喜平(昭4卒)両氏より聞き書きす
る。(木村・土屋)

▽九月二十六日(水) 十六日の続
きを、更に広げて、長沼孝三(1回
卒)、高橋正二会長(7卒)、事務
局も含めて行う。(北沢クラブで)

来年度 東京の同窓会

日時 昭和60年10月27日(日)

午前12時より

場所 池袋西口「東方会館」

お誘い合せの上奮ってご参加下さい

東京鷹桜同窓会のあゆみ(1) — 長中草創期 —

同窓会東京支部の芽ばえ

修学旅行の後輩を上野駅・旅館に激励

県立長井中学校第一回の卒業生誕生が大正十四年、今年は六十一一年めに当る。高女もほとんど同じで、青雲の志を抱いた若者は東京に出た。そして故郷を想い、母校のためを想い、何か母校のためになろうと考えて、同窓会東京支部をつくった。その記録を、長老の「聞き書き」で綴っていきたい。(敬称略)

大先輩の話聞いていて、まず、先輩達は偉かった、という想いがした。第一回卒からは、四年生から東京の一高に入学し、東大に進学した小林宗助。五年を卒業して一高、東大に進学した、長谷部茂吉、小林高記。現在の芸大に進んだ長沼孝三らの諸先輩につづき、二回卒、三回卒……みな然り。又、スポーツにおいても、剣道大会では、県下ではいつも優勝、東北大会でも一、二位。常に全国大会に駒を進めていた。

昭和二年度、卒業生が三回出た翌年、五年生の修学旅行(この頃は、二年生も三、四年生もそれぞれ方面を変えて修学旅行をしていた)が五月十五日から六泊七日で関西方面に出発した。

(六十年史によると)
五年生七十余名は莊司・倉田・斎

藤の三教諭に引率されて五月十五日午前七時十五分長井駅を出発し上野駅に着き、先輩同窓生の出迎えを受けて井筒屋旅館に旅装を解いた時は午後七時を過ぎていた。二日目は午前中東京都内を自由に見学して東京駅に午後一時集合、在京先輩に見送られて東京駅を発ち、午後十一時半頃、岐阜で旧師天笠校長や金子・池田・落合の諸教師の出迎えを受け、車中四方山の話をしていっているうちに午後十二時大垣駅に着く。略……

この記録にもあるように、当時、東京の同窓生は、在校生の修学旅行が東京に来るのを楽しみにし、先生方との再会を喜び、後輩たちを励ますことを行事としていた。

同期生同志は連絡も密で、よく会っていたが、先輩後輩との交流はほとんどなく、この修学旅行の出迎え

が唯一の交流の場であった。

戦前はもちろん、戦中も同じような状態で、同窓会の組織を確立しようという動きが出たのは、戦後も、少し落着きかけた昭和二十五年秋のことだった。

場所は大田区の渋谷利蔵(昭4卒)宅で、同期の桑島喜平と、大國輝威(昭3卒)の三人が、郷里から送られて来た栗をむきながら、同窓会東京支部の組織づくりについて熱心に語り合った。

当時、すでに二十六回の卒業生が出ており、次・三男対策のあたりを受けて、卒業生はぞくぞく東京を目指していた。機は熟しかけていた。

組織の柱は何といつても会長と事務担当者であった。アレコレ第一回卒の先輩から思いめぐらしたが、同席者一致して、長沼孝三先輩をお願いして他にない結論に達し、即座に大國輝威が交渉に当り、快諾を得る。事務局は、自分この主謀者三人が当ることを約束した。副支部長は谷口正美(大15卒)・渋谷幸太郎(昭2卒)・利蔵の兄、須藤恒雄(昭3卒)を案にして、昭和二十六年春の創立総会の準備に向けて発進した。以下次号

この聞き書きは、渋谷利蔵、桑島喜平を中心に、長沼孝三、高橋正二(昭7卒)の先輩から聞いた。

水なしでのむ

龍角散

ノドの生薬



キキョウ

龍角散は、生薬(キキョウ・セネガ・キョウニン・カンゾウ)を主成分とした微粉末です。のむとその中のサポニン配糖体が、ノドの粘液分泌を高め、

線毛運動をさかんにして、たんを切り、せきを鎮めます。

龍角散はノドの粘膜に直接作用して

効果をあらわす薬ですから、

水で胃に流しこんで、効果が弱くなります。

のむ時は、「水なしで」のおみください。

龍角散



18g入・40g入・85g入

株式会社 龍角散 東京・東神田

山形県立長井高等学校同窓会東京支部 東京鷹桜同窓会会則(案)

第1条 本会は山形県立長井高等学校鷹桜同窓会東京支部、東京鷹桜同窓会と称する。

第2条 本会は通常会員及び特別会員をもって組織する。通常会員は山形県立長井高等学校及びその前身校の卒業生並びに終了生とし、特別会員は同校旧職員などとする。

第3条 本会は会員相互の親睦を図り、母校の発展に協力することを目的とする。

第4条 本会は前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
1. 学校事業への協力 2. 会報の発行など 3. その他

第5条 本会に次の役員をおく。

- 1. 会長 1名
- 2. 副会長 若干名
- 3. 学年幹事 各学年につき若干名
- 4. 事務局長 1名
- 5. 庶務・会計 若干名
- 6. 監査 2名

第6条 本会の役員の任務は次のとおりとする。

- 1. 会長は本会を代表する。
- 2. 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはこれを代行する。

る。

- 3. 事務局長は会務を統括する。
- 4. 学年幹事は本会の会務を審議し同期生の連絡に当る。
- 5. 庶務は会務を処理し、会計は会の経理事務を掌る。
- 6. 監査は会計の監査に当る。

第7条 役員の出は次のとおりとする。

- 1. 会長、副会長は通常会員より総会においてこれを選出する。
- 2. 学年幹事は会長が委嘱する。
- 3. 事務局長、庶務・会計、監査は学年幹事の中から会長が委嘱する。

第8条 役員任期は2年とする。ただし再任を妨げない。

第9条 本会に顧問を置くことができる。顧問は、総会に諮った上会長が委嘱するものとし、会長は諮問に依ずる。

第10条 本会の会議は、総会、学年幹事会、事務局会議、監査会とし、会長がこれを召集する。

1. 総会は毎年1回、10月第3日曜日に関くことを定例とする。ただし必要に依り臨時に開くことができる。又、各学年幹事の3分の1以上の要求があるときは速やかに総会を開かなければならない。この場合、

各学年を1票とする。総会に

おいては次の事項を附議する。
(1) 事業報告 (2) 会計報告 (3) 会則の変更 (4) 役員改選 (5) その他必要事項

2. 学年幹事会は必要に依り開催し、必要な事項について審議する。

3. 事務局会議は、会長・副会長・事務局長・庶務・会計を以って構成し、総会に附議する事項その他必要な事項を審議する。

4. 監査会は年1回以上開催し、会計の監査を行い、その結果を総会において報告する。

第11条 本会の経費は、年会費、寄附金、その他の収入を以てこれに充てる。

第12条 本会の会計年度は10月1日に始まり9月末日に終る。

第13条 本会に次の帳簿などを備える。

- 1. 会員名簿
- 2. 役員名簿
- 3. 会議録
- 4. 会計簿
- 5. その他

第14条 この会則の執行のために必要な事項については別に細則を定めることができる。

第15条 本会則は昭和58年10月23日より施行する。

会則の改正について

九月十三日に開かれた学年幹事会に於いて、事務局より、左のような会則の改正の提案がなされ、学年幹事会ではこれを了承、昭和五十九年度総会に上提された。

会則改正の条項

〔挿入〕

第5条 3. 常任幹事若干名 (3以下の番号は順送り)

第6条 3. 常任幹事は会長を補佐し、会運営の調整に当る。
(3以下の番号は順送り)

〔追加修正〕

第7条 2. 常任幹事、学年幹事は会長が委嘱する。
(太字の部分を追加)

第9条 本会に顧問及び相談役を置くことができる。顧問及び相談役は、総会に諮った上会長が委嘱するものとし、会長の諮問に依ずる。
(太字の部分を追加)

☆お知らせ

龍角散の広告、事務局長、菅七郎氏の勤務先で、そのご好意によるものです。

母校の活躍・成績一覽

(昭和59年度春 秋は優勝のみ)

母校はいま、どのように活躍しているか、同窓生の関心は大
きい。そこで、今年の各部の成績を一覽にしました。春の大会
は例年になく悪く、関係者落胆の色が濃かったが、十月七日に
行われた置賜地区大会は急成長目ざましく、優秀な成績だった。
秋の大会は優勝のみ記載。

〔東北大会〕

- ▽陸上 男子十名、女子一名が選抜され出場したが決勝進出ならず。
- ▽山岳 東北総合体育大会三位。
- ▽水泳 男子一〇〇mバタフライ二位(天野義史) | インターハイ出場するも入賞ならず。

〔県大会〕

- ▽陸上 男子四〇〇mリレー三位、男子一六〇〇mリレー六位、男子四〇〇m四位(寺嶋)、やり投げ四位(土屋)。
- ▽体操 個人女子二名出場、予選通過ならず。
- ▽テニス 男子団体ベスト8、女子個人(佐藤・佐勝組)十二位。
- ▽バレー 女子一回戦敗退。
- ▽バスケット 男女とも一回戦敗退
- ▽卓球 男子一回戦、女子二回戦で敗退。
- ▽バドミントン 男子一回戦敗退、女子ダブルス一回戦敗退。

- ▽野球 一回戦、寒河江に快勝、二回戦、東海山形に敗退。
- ▽剣道 男子予選リーグ敗退、女子三回戦で敗退。
- ▽弓道 沼沢昭彦(技能賞)。

〔置賜地区大会〕

- ▽山岳 山形県総合体育大会優勝
- ▽水泳 男子四〇〇mリレー六位、女子四〇〇mリレー六位。男子一〇〇mバタフライ二位(天野)、男子一〇〇m平六位(天野)。
- ▽柔道 予選リーグで敗退。
- ▽音楽部 吹奏楽Aクラス 銀賞。
- ▽陸上 男子総合二位、女子総合三位。(個人男子)一〇〇m一位、二〇〇m二位、四〇〇m二位、三位、四〇〇mハードル二位、三〇〇〇m障害三位、四〇〇mリレー二位、一六〇〇mリレー一位、走幅跳一位、三段跳三位、砲丸投二位、ハンマー投げ三位、棒高跳三位。(女子個人)やり投げ二位、走幅跳三位。

- ▽体操 男子団体なし、女子団体三位。(女子)平行棒三位、跳馬三位。
- 〔秋〕女子団体優勝、男子個人総合優勝(高橋孝一郎)。
- ▽テニス男子団体第一部二位、女子団体第一部二位、〔個人〕男子、小林・竹田組一位、女子、佐藤・佐勝組三位。
- ▽バレー 男子第二部二位、女子第一部三位。
- ▽バスケット 男子三位、女子優勝。
- 〔秋〕男子優勝。
- ▽サッカー 春季一部リーグ四位、全国選手権地区予選三位。
- ▽卓球 男子団体ベスト8、女子団体一位。〔秋〕女子団体優勝。
- ▽バドミントン 男子団体三位、女子団体一回戦敗退。
- ▽野球 一回戦、長井工業に敗退、敗者復活戦、米商に敗退。
- ▽剣道 男子団体三位、女子個人五位(渡部真由美)
- ▽弓道 男子団体三位、女子団体二位。〔秋〕男子団体優勝、男子個人優勝(関卓也)。
- ▽水泳 団体、男女とも優勝。
- ▽ソフトボール 三位。
- ▽柔道 団体三位。
- ▽英語弁論大会地区予選 一位(紺野芳弘・三年)二位(宗田恵子・一年)。

各種記念品時計・高級金属洋食器
各種贈答品—ガラス特殊加工—

東北サイン工業株式会社

代表取締役 渋谷利蔵 (昭4卒)

東京都大田区西馬込2丁目35-5
〒143 電話 (03)775-3301

きみを自慢する日だね。



ウインターパック
ウエディングプラン

59年秋 教会式オープン!

忘れられない1日だもの。

ふれあい
40名様 380,000円

お祝い
東方會館

池袋駅西口公園前
TEL.03-967-0211

※前一年12月1日～80年2月28日
●昭和59年10月1日～11月30日平日も受付

事務局から

昭和五十九年度の活動としては特
に目立った動きはなかったが、九月
十三日に学年幹事会を開き、種々検
討し、前進的に具体化することを確
認し、事務局の若返りをはかること
により低年齢層の参加を促し、強化
することなど、少しずつ拡大を見せ
ている。

その一つとして、会報の発行とそ
の充実が望まれ、会長の承認を得て
次のように編集委員を組織した。

〔編集長〕 木村繁(昭28卒)、〔委
員〕 飯沢省三(昭31卒)、武田律子
(昭34卒) 末吉暁子(昭36卒)。

同期会だより

▽昭4卒(東京已巳会)(長中)
毎年二回開催。場所は世田谷区北
沢の千代田火災(株)「北沢クラブ」。

春は四月十日頃と十二月八日。
(幹事・渋谷利威)

▽昭5卒同期会(長中)
六月七日、新潟県瀬波温泉「大観
荘」にて開催。次回は六十年六月、
蔵王温泉の予定。(幹事・後藤信一
〓〓〓三七八七―二―二一九七)

▽昭7卒同期会(高女)
毎年九月第一土・日曜日、長井ま
たは山形周辺で開催。(幹事・桑島
従子)

▽昭10卒同期会(長中)
昨年五月、山田禎史先生を迎え、
長井にて開催。今年山形の予定。
(幹事・新野辰雄)

▽昭11卒同期会(高女)
毎年五月、長井、山形、東京の順
に行っている。今年江ノ島・鎌倉
で、来年は松島・仙台の予定。
(幹事・角田イチ)

▽昭14卒同期会(高女)
毎年、春か秋に開催。千葉県鴨川
の老人ホーム見学も兼ね、一泊旅行
の会もやった。(幹事・屋島 幸)

▽昭14卒同期会(長中)
昨年度、下板橋の「国鉄の寮」で

開催。本年初夏、新宿の「樽平」で
開催。秋にも予定。(幹事・安部孝)

▽昭16卒同期会(高女)
毎年、秋に開催。
(幹事・遠藤トキ子)

▽昭17卒同期会(高女)
六月三十日、横浜中華街で開催。
出席者八名。(幹事・青木広子)

▽昭18卒同期会(高女)
六月三十日、宮城県「作並温泉」
で開催。出席者二〇名。(幹事・竹
田いそ子)

▽昭19卒同期会(高女)
昨年、宮城県・松島で開催。出席
者二十三名。(幹事・今野幸子、奈
須テル)

▽昭22卒「小桜会」(高女)
昨年十二月、上野池の端「東天紅」
で開催。本年は11月に鎌倉で開催の
予定。(幹事・加藤方〓七一九―三
二四七)

▽昭26卒同期会(長高)
九月十五、十六日、塩原温泉で開
催。奥村三郎・智寿子先生ご夫妻を
迎え、出席者二十六名。来年は、六
月六日、福島「東山温泉」で開催予
定。(今年の幹事・加藤栄助、中根
照子ほか。来年の関東地区幹事・高
橋忠三〓九五八―八四四八)

▽昭28卒「母校へ招待」(長高)
五月十九日(土)、母々の創立記

念行事に招待を受け、全国から参集
した。なつかしい講堂でのパーティ
、二次会も盛況だった。
(常任幹事・綿谷琴子)

▽昭31卒同期会(北校)
昨年九月十八日、神田一ツ橋「教
育会館」で開催。出席者三十七名。
次回は昭和六十年の予定。(幹事・
菅野清子)

▽昭32卒同期会(北校)
八月十五日、長井、萩公園で開催。
(幹事・難波俊子)

▽昭33卒同期会(南高)
昨年十月二十二日、水野多門先生
を囲んで、第一回同期会を帝国ホテ
ルで開催。

▽昭34卒同期会(南高)
昨年、同窓会の二次会を十名で開
催。(幹事・柴田静子、安部紀男)

▽昭35卒同期会(南校)
九月八日、上野・ニュー東天紅で
開催。出席者二十名。(幹事・坂本
キミ子)

▽昭35卒同期会(北高)
五十六年七月、上野・東天紅で開
催。出席者六名。(幹事・石見昌子)

▽昭36卒同期会(南高)
昨年十月二十二日、池袋・「新平
家」で、元三番教室のクラス会を開
催。水野多門先生を囲んで十名の参
加。(幹事・末吉暁子)

会計報告 昭和59年9月30日

昭和59年度		昭和59年9月30日	
＜収入の部＞		＜支出の部＞	
前年度繰越金	237,237	総会費	621,405
総会費	882,000	会議費	158,309
事務費	143,000	事務費	52,899
広告収入	40,000	通信費	163,405
物産販売収入	18,500	長井市史	9,000
受取利息	6,061		
	1,326,798		1,005,018
＜次年度繰越金＞			
収入-支出	321,780		